

0・1歳児を対象としたFTPプログラムの例

- * 親子で参加いただきます。
- * 参加人数に応じてファシリテーターと保育士の派遣人数を決定します。
- * 所要時間は45分から1時間です。季節の歌や手遊び、ふれあい遊び、参加者同士のグループセッション（振り返り）も含まれます。
- * いずれのワークショップも5～6回の連続講座にすることが可能です。

ワーク名	子どもの対象年齢	ワーク詳細
1 インファントオブザベーションワーク（赤ちゃんの観察）	0歳児 1歳児	<p>自分の子どもの身体や行動、個性、視線、好み等を観察するワークです。 子どもの年齢やその時のテーマによって、観察課題は変わります。</p> <p>【ねらい】 自分の子どもを知るために、子どもを「よく見る」ことの重要性を知る。 日常的に観察を行うことで、体調の変化や成長に気づきやすくなるだけでなく、子どもの感情、気分、要求を正確に読み取れるようになる。 また、思い込みによる間違った解釈で子どもを理解していることもあるので、客観的に子どもの状況を把握するよう促す。</p>
2 ベビートーク（赤ちゃんとの対話ワーク）	0歳児のみ	<p>子どもを観察し感じ取った気持ちを言語化し、さらにその気持ちを子どもに伝え、その後の子どもの様子を観察するワークです。</p> <p>【ねらい】 言葉が分からない赤ちゃんとも会話ができることを知る。 赤ちゃんを観察し赤ちゃんの気持ちを想像する、それが合っているかどうか確認をしながら赤ちゃんの心に寄り添うことで、心の交流が生まれることを知る。</p>
3 ベビーサイン	1歳児のみ	<p>子どもの身振りや行動を振り返り、その時の気持ちを想像するワークです。 言葉ではないサイン（ボディランゲージ）を使って意思疎通をはかる実験をし、その時の感情なども共有します。</p> <p>【ねらい】 言葉を発しなくても、子どもは何かを伝えようとしていることを知る。 子どもの身振りや行動を日常的に観察し、何を伝えようとしているか、どんな気持ちを表現しようとしているかを想像しながら子どもに関わっていくことで、子どもの感情、気分、要求をより正確に読み取った対応ができるようになる。</p>
4 ほめ方のタッチワーク	0歳児 1歳児	<p>ロールプレイでいくつかのほめ方を体験するワークです。 タッチの手法を取り入れたほめ方も体験します。</p> <p>【ねらい】 子どもをほめる時にタッチの手法を取り入れるとどんな効果があるかを体験し、タッチによる親子の関わりを促進する。 また、自分の子どもには、どのような場面でどのようにほめるのが適切かを試行錯誤することが、親子の関係性の高まりにつながることを知る。</p>
5 しかり方のタッチワーク	0歳児 1歳児	<p>ロールプレイでいくつかのしかり方を体験するワークです。 タッチの手法を取り入れたしかり方も体験します。</p> <p>【ねらい】 子どもをしかりる時にタッチの手法を取り入れるとどんな効果があるかを体験し、タッチによる親子の関わりを促進する。 また、自分の子どもには、どのような場面でどのようにしかりのが適切かを試行錯誤することが、親子の関係性の高まりにつながることを知る。</p>
6 なだめのタッチワーク	0歳児 1歳児	<p>ロールプレイでいくつかのなだめ方を体験するワークです。 タッチの手法を取り入れたなだめ方も体験します。</p> <p>【ねらい】 泣いている子どもをなだめる時にタッチの手法を取り入れるとどんな効果があるかを体験し、タッチによる親子の関わりを促進する。 また、自分の子どもには、どのように泣いている場面でどのようになだめるのが適切かを試行錯誤することが、親子の関係性の高まりにつながることを知る。</p>
7 寝かしつけの抱っこワーク	0歳児 1歳児	<p>ロールプレイでいくつかの寝かしつけの抱っこの仕方を体験するワークです。</p> <p>【ねらい】 自分の子どもを寝かしつける時には、どのような状況でどんな抱っこが適切かを試行錯誤することが、親子の関係性の高まりにつながることを知る。</p>
8 授乳の抱っこワーク	0歳児のみ	<p>ロールプレイでいくつかの授乳時の抱っこの仕方を体験するワークです。</p> <p>【ねらい】 自分の子どもに授乳を行う時は、どのような状況でどんな抱っこが適切かを試行錯誤することが、親子の関係性の高まりにつながることを知る。</p>
9 しっくり抱っこのワーク	0歳児 1歳児	<p>いくつかの抱っこの種類を体験し、自分と子どもの両方がリラックスできる抱っこを探すワークです。</p> <p>【ねらい】 抱っこのポジショニングがうまくいかないと、子どもがなかなか泣き止まなかったり、眠ってくれなかったりするだけでなく、親の負担にもなり身体が緊張したり、疲れたりすることにつながることを知る。親の負担はさらに子どもに伝わって居心地が悪くなるので、双方にとってリラックスできる最適な抱っこを見つけることの重要性を知る。 また、子どもの成長とともに心地よい抱っこが変わるため、よく観察し、抱っこのポジションチェンジについて試行錯誤することを促す。</p>
10 身体の距離のひもワーク	1歳児のみ	<p>ロールプレイで子どもとの距離感を体験するワークです。 ひもを使って子どもとの距離を作り、その離れた距離によってどんな感情になるかを想像します。</p> <p>【ねらい】 子どもは、親とどのくらいの距離で、どのような気持ちで過ごしているかを知る。 育児疲れで、少し子どもと離れたと思う状況もあるが、その時にここで体験したことを思い出してもらおう促す。</p>